

日本感性工学会
学会誌原稿執筆のしおり
(原稿執筆前に必ずお読み下さい)

(2024年2月1日 施行)

日本感性工学会 編集委員会

目次

1. まえがき.....	3
2. 記事に関して.....	3
2.1. 特集（主対象：会員，平易に執筆）.....	3
2.2. 報告（主対象：会員，平易かつ総合的に執筆）.....	3
2.3. 解説（主対象：専門外の会員，学生会員，平易に執筆）.....	3
2.4. 研究室紹介（主対象：特になし.）.....	3
2.5. その他.....	3
2.5.1. 主催学会開催報告（国内，国際）（主対象：会員）.....	3
2.5.2. 国際会議報告（主対象：会員）.....	4
2.5.3. 図書紹介（主対象：特になし）.....	4
2.5.4. 学会だより（主対象：会員）.....	4
3. 執筆に関して.....	4
3.1. 執筆者に関して.....	4
3.2. 記事の執筆に関して.....	4
4. 提出物.....	5
① 記事の原稿（文章）ファイル.....	5
テンプレートに文章を記載した原稿を提出する場合.....	5
テンプレートに文章を記載していない原稿を提出する場合.....	5
② 記事に用いた図・グラフの元データ.....	5
③ 著者紹介文（150字程度）.....	5
④ 著者顔写真（任意）.....	5
5. 事務局から著者に送付されるデータ一覧.....	5
6. 原稿の送付先.....	5

1. まえがき

本会の学会誌は、感性工学に関する新しい知見を掲載して広く会員の知識向上を図るものです。感性工学会の会員はこれから何かを得ることを期待しています。執筆者の方々におかれましては、執筆内容を限られたページ内で、簡潔にかつ分かりやすく読者に内容を伝えるように工夫して執筆していただくと幸いです。原稿を作成して頂くために「原稿執筆のしおり」を用意しましたので、是非一度お読み下さい。

学会誌の記事は、すべて本会から執筆を依頼する依頼記事となっており、依頼の際に制限ページ数を指定させていただきます。なお、編集委員会で不相当と判断されたものは掲載されないのあらかじめ御了承下さい。

2. 記事に関して

学会誌では、以下に示す 5 種類の内容の記事として扱います。主対象とする読者を記載していますが、あくまで目安としてお考えください。

2.1. 特集（主対象：会員、平易に執筆）

特集とは、感性工学における特定の分野のトピックス、会員が関心の強い問題について、総合的に広く浅く理解できるように特別に企画された、いくつかの解説や展望を集めたものです。原則として、5 件程度の記事によって構成することとします。1 記事の刷り上がり 6 ページ（著者紹介、図面、参考文献を含む）以内とします。

2.2. 報告（主対象：会員、平易かつ総合的に執筆）

報告とは、各研究部会のプロジェクトが完成した段階、または、時限付き研究部会が終了した段階において、そのプロジェクトのそれまでに得られた成果などを総合的にとりまとめ、この分野に関連ある一般の会員を対象として記述したものです。原則として刷り上がり 6 ページ（著者紹介、図面、参考文献を含む）以内とします。

2.3. 解説（主対象：専門外の会員、学生会員、平易に執筆）

解説とは、最近、特に関心を持たれている感性工学における特定の分野のトピックスや新技術、将来動向について、これに関心を持つ専門外の会員を対象として、平易に総合的に記述したものです。原則として刷り上がり 6 ページ（著者紹介、図面、参考文献を含む）以内とします。

2.4. 研究室紹介（主対象：特になし。）

研究室紹介とは、感性工学に関連する大学の研究室および企業の研究所（部署）の取り組んでいる研究内容について、これに関心を持つ専門外の会員を対象として、平易に総合的に記述したものです。原則として刷り上がり 2 ページ（図面、参考文献を含む）以内とします。

2.5. その他

2.5.1. 主催学会開催報告（国内、国際）（主対象：会員）

主催学会開催報告とは、日本感性工学会の主催した国内会議（大会、春季大会）や国際会

議 (ISASE, KEER) や日本感性工学会の関与が強い国際会議 (ICBAKE) に関する報告です。原則として刷り上がり 1 ページ (図面を含む) 以内とします。

2.5.2. 国際会議報告 (主対象: 会員)

国際会議報告とは、最近開催された感性工学に関連する重要な国際会議に関する報告です。原則として刷り上がり 1 ページ (図面を含む) 以内とします。

2.5.3. 図書紹介 (主対象: 特になし)

感性工学に関連する新刊書の内容, 特長, 類書との比較および批評を執筆したものです。原則として刷り上がり 1 ページ (図面を含む) 以内とします。

2.5.4. 学会だより (主対象: 会員)

学会の活動や, 部会の活動について報告する。原則として刷り上がり 1 ページとしますが, 活動の多い場合に関しては, 適宜ページ数を増やすこととします。

3. 執筆に関して

感性工学は, 哲学, 服飾・デザイン, 心理・生理・脳科学, ビジネス, 理工学などの幅広い領域をわたる研究分野です。そのため, 記事執筆に際しては専門の異なる会員や学生会員でも平易に読めるよう特に工夫して下さい。

また学会誌の記事は, 全て J-stage (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kansei/list/-char/ja>) に掲載され, 会員・非会員に関わらず, 誰でも無料で閲覧することができます。

3.1. 執筆者に関して

執筆者は, 編集委員会が選定した編集担当委員によって選定された方なら, 感性工学会員以外の方でもなっただけは可能です。

3.2. 記事の執筆に関して

執筆の際には, 以下の点に留意してください。

- 文体は, 口語文章体としてください。
- 専門外の会員に理解困難と思われる用語・略語については, 努めて「用語解説」または「参考文献」をつけていただくと幸いです。
- 執筆者の方には, 学会誌の原稿の「刷り上がり」を意識して執筆して頂けるようにテンプレートを配布します。
 - 執筆者には内容に集中していただけるように, 体裁に関する修正 (フォントサイズやフォント, 図の解像度や図の位置, 参考文献の記載方法等) は, 学会 (編集会社) の方で行わせていただきます。
 - 作成していただく原稿はテンプレートを用いず, テキストデータと図表データの提出でも構いません。ただし, 文章と図表番号は必ず関連付けてください。
- 過去の特集記事は, 以下に掲載されておりますのでご参照ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kansei/list/-char/ja>

4. 提出物

執筆者の方は、①から④のデータ(ただし、④は任意)をご準備いただくことになります。本学会誌は、オンラインジャーナルであるため、カラーの図表はカラーで表示されます。提出された原稿は、学会誌の発行前に編集会社より校正のご案内をさせていただきます。

① 記事の原稿(文章)ファイル

テンプレートに文章を記載した原稿を提出する場合

- Wordファイル(図表付き)と、そのPDFファイル

テンプレートに文章を記載していない原稿を提出する場合

- 文章を記載したファイル(Wordファイルか、テキストファイル)
 - このファイルには、図表を含んでいてもいなくてもどちらでもよい。

② 記事に用いた図・グラフの元データ

- 図・グラフの元データは、イラスト・グラフ等は加工等されている場合を除き、なるべくjpeg、pngでない、変換前のデータをご支給下さい。その理由は、保存される際に、データが圧縮され画質が落ちるためです。

③ 著者紹介文(150字程度)

- こちらも、本しおりと共に事務局から送信させていただいた「著者紹介文(記入用紙)」に記入してください。紹介文の内容は、著者のご裁量にお任せ致します。サンプルとして、「著者紹介文 Sample」を添付しております。必要でしたら参照ください。

④ 著者顔写真(任意)

- なるべく高解像度のデータをご支給下さい。著者顔写真の提出は任意です。

5. 事務局から著者に送付されるデータ一覧

- 執筆のしおり(本ファイル)
- 記事テンプレート
- 著者紹介文(記入用紙).doc
- 著者紹介文 Sample

6. 原稿の送付先

日本感性工学会 論文審査・編集委員会

学会誌「感性工学」専用 editor_k@jske.org